

學

伴東小学校 校長室だより

【伴東プライド】を中核に、
「やる気いっぱい 笑顔いっぱい」の学校



今年から土曜日開催に変更して実施しました秋季大運動会、9月28日（土）の朝は天気がどのように変わるか心配しながらの開始となりました。しかし、子ども達のやる気と熱い思いが空に伝わり、汗ばむほどの天候となり予定通り行うことができました。お陰様で子ども達の成長した姿を見ていただくことができたと思っております。途中、プログラムの入替をさせていただきましたが、最後まで暖かい声援と拍手を子ども達に送っていただき、ありがとうございました。

また、同日は自動車の誘導や会場警備に当たっていただきましたPTA役員・ボランティアの保護者の皆さま、大変お世話になりました。重ねて感謝申し上げます。今後も引き続き、ご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

さて、9月号に引き続き同じような内容をお伝えしなければなりません。10月12日に上陸した台風19号は、関東地方・甲信地方・東北地方に記録的な大雨を降らせ甚大な被害をもたらしました。24日現在、死者84名、不明者10名、ケガ等での負傷者400名以上、堤防の決壊は71河川135カ所、住宅の浸水被害54000棟以上、土砂災害20都県432件・・・東日本大震災を超える過去最大の災害とも言われています。場所によっては1週間が過ぎても氾濫した水が全く引いていない地域もあるなど、復旧・復興に先が見えない状態と報道されています。

後期始業式で今回の災害について子ども達に話しをしました。いつも言っていることと同じような内容ではありませんが、自然災害はいつ起こるか分からない、どのような状況になるか予想が立たない、いざそのような状況に遭遇しても思うように行動できない・・・だからこそ日頃からの備えが大切になると伝えました。防災・減災について、学校でも家庭でも考えていかなければなりません。

過ごしやすい季節。「秋」になり、朝夕の涼しさを肌で感じるころとなりました。体調管理にご留意ください。近隣校からインフルエンザの罹患報告がありました。

朝夕の涼しさを肌で感じるころとなりました。最近「暑い」か「寒い」かのどちらかのような季節感で、過ごしやすい「いい時期」が少なくなっているように思いますが、ここ数日は過ごしやすい、余り急いで冬に向かってほしくないですね。また、『〇〇の秋』を密かに楽しみたいところです。

子ども達の様子に目をやると、疲れが出る時期であるともいえます。体調が優れなかったり気分が盛り上がらなかったり、また風邪を引いたり。近隣校ではインフルエンザに数名の子どもが罹患したとの報告もありました。以前は季節で流行する病気とされていたものも、最近季節に余り関係なく流行する状況にあります。子どもさんの体調管理にご留意ください。そして、体調が優れないようであれば早めに専門医での受診をお願いします。

先日、インフルエンザに係るお知らせを配付いたしました。欠席後の再登校における手続きが変更されましたので、ご確認ください。



「習慣」：生活の中でくり返し行う決まった動作や行為。読書活動は日頃の生活の中で習慣にすることが大切です。

『〇〇の秋』・・・〇〇にはいろいろな言葉が入ります。まさに十人十色で、いろいろな秋があります。みなさんはどのような秋を過ごされているでしょうか。

今年の全国学力・学習状況調査（6年生対象、4月18日実施）で、子ども達の読書時間が全国平均をかなり下回って少ない結果がでました。これは本校の課題の一つであり、毎年同じような実態です。朝読書や読み聞かせなど継続して取り組んでいますが、「習慣」にまで至っていません。『良書はこころの栄養』ともいわれる読書ですが、読書以外に時間を割いているようです。

先月号で県立高等学校の入試制度が変わることをお伝えしました。現在どのような制度が望まれるか、パブリックコメントも寄せられているようです。その中で合否判定の一つとして「自己アピール」を作成するという内容が盛り込まれているようです。自分のよさや人格を知ってもらうための文章を書く・・・簡単なようで、そうはいつでも合否に関わる重要なものです。どんな文章を生徒は書くのでしょうか。友人に高等学校の先生がいます。このことを尋ねてみると、「進学塾で作文の対策もするだろうね。でも、そうすると同じような文章が並びと思うよ。個性を発揮して自分を理解してもらえるような内容にするためには、**たくさん**の言葉を操れる力があるかどうかだね。」と返答がありました。続けて、「言葉の上手な言い回しや語彙力が豊かな子が有利になるかな。」と。納得の回答でした。たくさん言葉を操り、上手な言い回しができるだけの語彙力を獲得する・・・**単刀直入に「読書」が一番の対策である**と思います。近い将来、自分の思い描く進路を選択するために、ここは「読書の習慣」を身につける秋にチャレンジはいかがでしょう。



パソコン・スマートホン・ゲーム機・通信機器等、さらに身近なものになっています！子どもさんがどのように使っておられるか、今一度ご家庭での点検・確認をお願いします！

ここ数年で小中学生のスマートホンの所持率が一気に増加しているという、民間の調査会社の報告がありました。実際に地域の行事に出向くと、会場で子ども達がスマートホンを操作している姿をよく目にするようになりました。メールやLINE等を介しての事件や事故、いじめなどの事案がたくさん発生し大きな社会問題になった時期もありました。最近でもその状況は続いており、マスコミが報道しなくなったから無くなったわけではありません。教育委員会はネットパトロールの状況に関係機関に発信し、実態把握と注意喚起をしています。

子ども達の将来の夢の1番に「ユーチューバー」が挙げられるようになり、時代の変化を強く感じます。視点を変えれば、それだけ子ども達の生活の中にも身近なものとなっていることが伺えます。また、休みの日に子ども達が楽しんでいるゲーム機もどんどん機能が追加され、オンラインでつながり会話のやり取りも容易にできるようになっています。昔のように一人でゲームを楽しむという状況ではありません。ご家庭で子どもさんがどの機器をどのように使い、誰と繋がっていてどんなやり取りをしているか・・・改めてご確認ください。何気ない行動が人を傷つけることになってはいけませんので。



